

地域を悩ます朝夕の通勤時の渋滞緩和へ
～国道4号矢板市中、中北交差点の渋滞対策工事を開始します。～

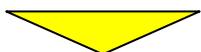
- 記者発表資料 -



昨年度に道路見える化計画「渋滞見える化プラン」で県民の皆さまとともに、選定しました22の対策箇所のうち、国道4号矢板市中、中北交差点の渋滞対策工事をを行いますのでお知らせします。

朝夕の渋滞は県平均の1.1倍

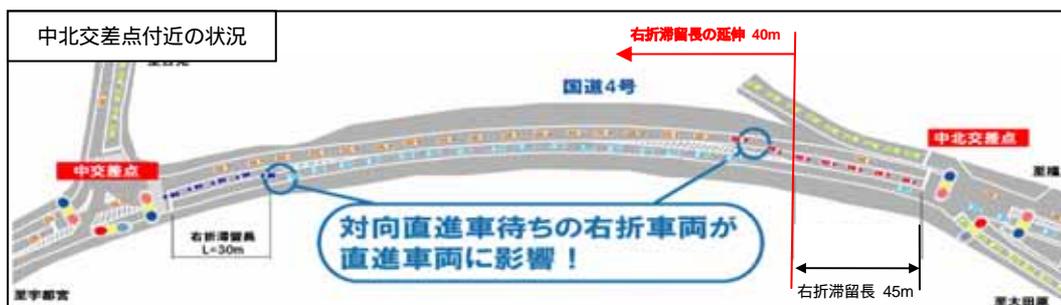
国道4号の矢板市中、中北交差点は県平均の1.1倍の渋滞であり、平成18年3月に公表した「渋滞見える化プラン」で要対策箇所に位置づけられている。
交差点を右折する車両のたまりが、直進する車両の進行を阻害している。



対策が必要！！

今回対策を行うのは、直ぐに着手可能な中北交差点の右折レーンの延伸。

工事実施期間 10月4日(水)～6日(金)



期待される効果

下り線（福島方面行き）の右折レーンの延伸により、渋滞は概ね解消。



今後の取り組み

対策後の渋滞状況を確認するとともに、引き続き中交差点においても対策を進める。

平成18年10月2日(月)

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、
栃木県政記者クラブ

お問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所

副所長：戸倉 健司（内線204）

調査課長：佐久間 博之（内線451）

住所：栃木県宇都宮市平松町504

電話：028-638-2181（代表）

渋滞 3 中、中北交差点 (矢板市)

(オモテ)

H18.8月版

右折車のたまりが直進車両の進行を阻害!!

基礎情報

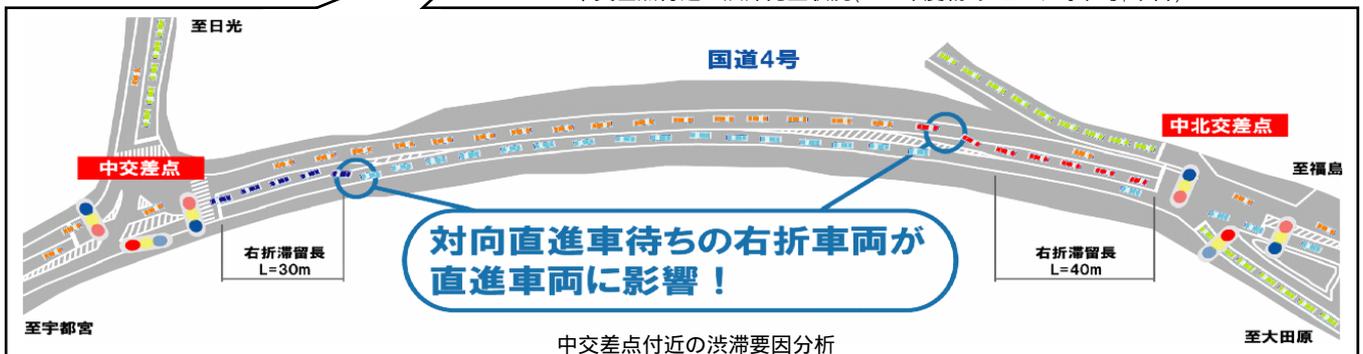
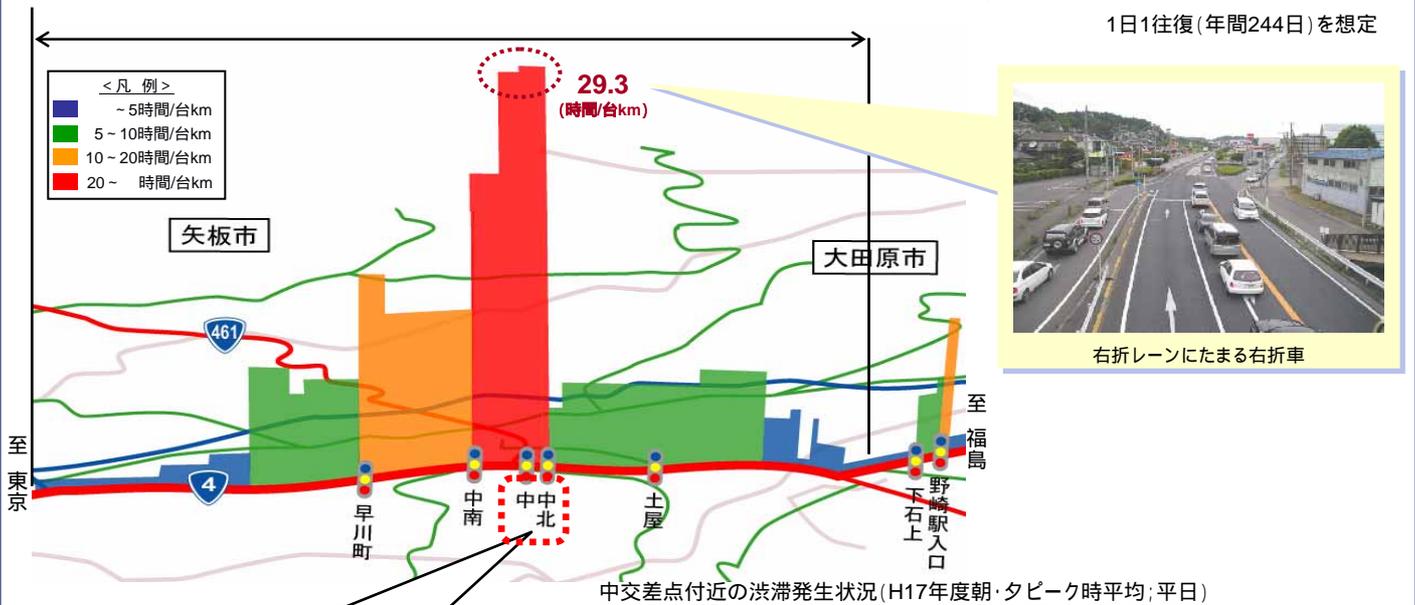
箇所概要	路線名	一般国道4号
	箇所名	中、中北交差点
	住所	矢板市中
抽出指標	朝夕の渋滞(県平均の11倍)	



現状の課題

- 中交差点、中北交差点付近は、**国道4号県内区間で最も混雑度が高い(容量の約2倍の交通量)!!**
- 通勤等で中交差点周辺区間を毎日通行 すると…1年間に**約43時間(約11万円)損失を蒙ることに!!**

1日1往復(年間244日)を想定



特記事項

- 「主要渋滞ポイント」に指定
- バス路線

渋滞 3 中、中北交差点 (矢板市)

(ウラ)

H18.8月版

対策案

No	対策のねらい、方向性	具体的対策(案)	摘要
	<ul style="list-style-type: none"> ●右折車による直進車両進行の阻害を解消する 	<ul style="list-style-type: none"> ●右折レーンの延長(中北交差点、中交差点) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●慢性的な交通容量不足(2車線で3万台もの需要)を解消する 	<ul style="list-style-type: none"> ●4車線化 	
対策図	<ul style="list-style-type: none"> ●対策 (右折レーンの延伸) 		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●中交差点の国道4号南行き側右折レーン延伸のためには、用地買収(A=96.2m²)が必要。 ●抜本的な対策である4車線化の計画は検討中。 		

整備効果

期待される効果	●右折車両のたまり確保による 渋滞損失の緩和、解消
発現した効果	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>開通後に 効果を確認</p> </div>

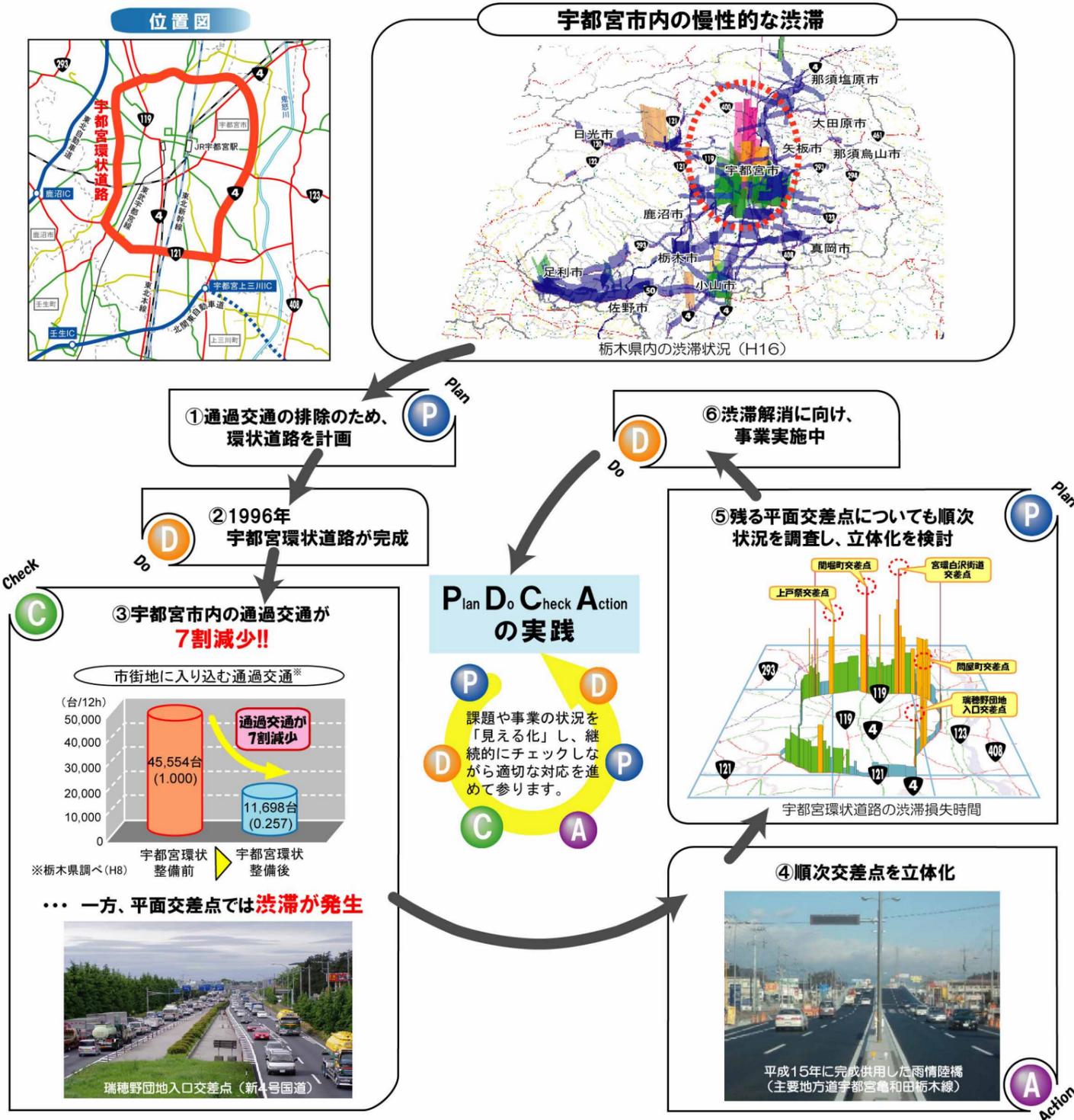
今後の対応など

- 早期供用を目指し、地元と調整(用地買収等)を図りながら事業を進める。
- 完成後の渋滞状況を引き続きフォローアップ。

今後の道路行政が
目指していく
取り組みのすかた

今後、具体的な対策を検討し、早急に対策を実施していきます
～すぐできる対策の実施と継続的なチェック～

● **渋滞解消**に向け継続的に**改善**します ～宇都宮環状道路～



とちぎのみち 渋滞見える化プラン

とちぎの”みち”はいま…

● 渋滞の**5割**が**約2割の道路に集中**※1

※1：走行調査結果 (H17上半期：平日)

● 主要観光地では、シーズン中の所要時間が、**平常時の5倍**※2

※2：走行調査結果 (H17.10月、11月)

- 宣言1 道路の課題をデータできちんと把握します。
- 宣言2 解決を急ぐべきところから重点的に対策します。
- 宣言3 道路行政をもっと分かりやすく「見える化」します。

道路見える化計画
課題が見える・やり方が変わる

道路行政マネジメントを実践する栃木県会議

(道路行政マネジメントを実践する栃木県会議)
県内の有識者や各種団体代表、行政により構成され、道路交通の安全性や移動性の阻害及び道路行政マネジメントに関する課題等について検討・協議しています。

(事務局) 国土交通省宇都宮国道事務所調査課
〒312-0931 宇都宮市平松町504
TEL : 028-638-2185
URL : <http://www.ktr.mlit.go.jp/utunomiya/>
E-mail : ukoku_hp@ktr.mlit.go.jp

栃木県土木部道路建設課
〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20
TEL : 028-623-2408
URL : <http://www.pref.tochigi.jp/douken/>
E-mail : douken@pref.tochigi.jp

道路行政マネジメントを実践する栃木県会議



データを分析し、明らかになった移動性向上のための代表箇所

代表箇所の選定プロセス

STEP1

箇所選定の視点

- 朝夕の通勤・通学時の渋滞する箇所
- 休日の商業施設周辺などの渋滞する箇所
- 観光地の渋滞する箇所
- 災害時に寸断する箇所
- 狭い・カーブが多いなどで走りづらい箇所
- とちぎの自然や文化遺産を遺す箇所

STEP2

それぞれの視点についてデータを分析

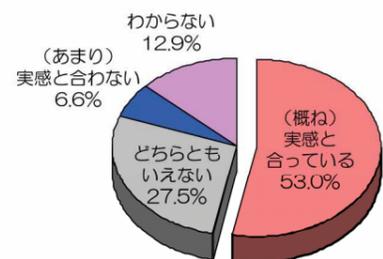


STEP3

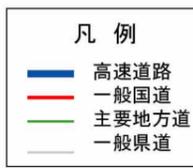
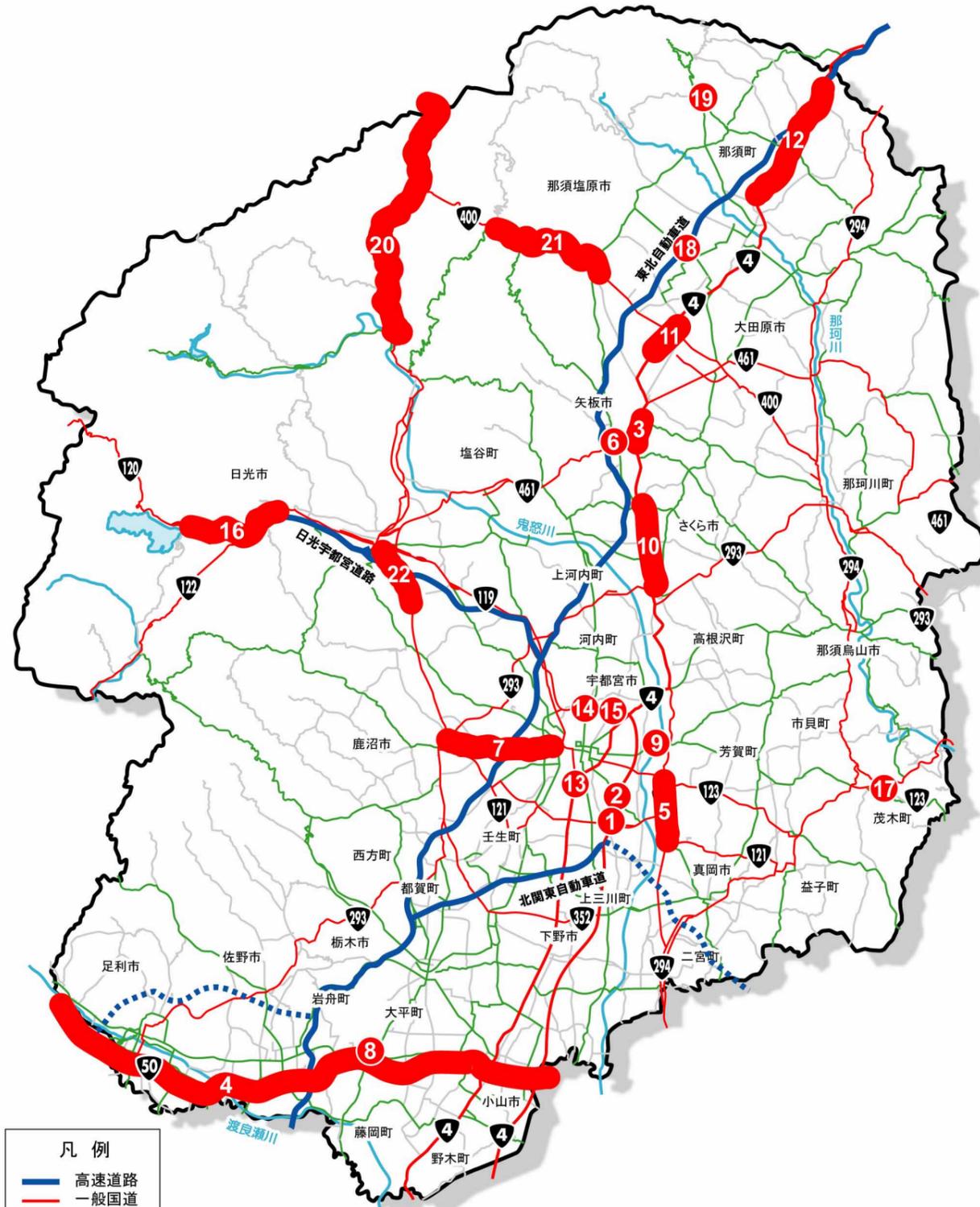
視点ごとに抽出した箇所の中で、課題が大きい箇所をさらに厳選

STEP4

県民の皆さんからご意見を伺いました。
アンケートでは、半数以上の方が「要対策箇所(案)は実感と合う」と回答。



移動性向上のための代表箇所 位置図



※今後も道路の移動性に関して引き続きデータによる確認を行い、対策箇所の追加・見直しを順次実施していきます。

番号	路線名(箇所名)	選定理由	バス路線
朝夕の通勤・通学時の渋滞			
1	新4号国道 (宇都宮市; 瑞穂野田地入口交差点付近)	朝夕の渋滞 (県平均の50倍)	○
2	新4号国道 (宇都宮市; 問屋町交差点付近)	朝夕の渋滞 (県平均の11倍)	
3	国道4号 (矢板市; 中交差点、土屋交差点付近)	朝夕の渋滞 (県平均の11倍)	○
4	国道50号 (足利市~小山市)	朝夕の渋滞 (県平均の40倍)	○
5	国道408号 (真岡市~宇都宮市)	朝夕の渋滞 (県平均の12倍)	○
6	主要地方道矢板那須線 (矢板市; 本町交差点付近)	朝夕の渋滞 (県平均の43倍)	○
7	主要地方道宇都宮鹿沼線 (宇都宮市~鹿沼市)	朝夕の渋滞 (県平均の15倍)	○
8	主要地方道栃木藤岡線 (岩舟町; 和泉交差点付近)	朝夕の渋滞 (県平均の7倍)	
9	主要地方道宇都宮向田線 (宇都宮市; 板戸付近)	朝夕の渋滞 (県平均の17倍)	○
休日の商業施設周辺などの渋滞			
10	国道4号 (矢板市; さくら市~矢板市)	休日の渋滞 (県平均の79倍)	○
11	国道4号 (那須塩原市; 三区町~西富山)	休日の渋滞 (県平均の24倍)	○
12	国道4号 (那須町)	休日の渋滞 (県平均の10倍)	○
13	国道4号 (宇都宮市; 西原交差点、川田入口交差点付近)	休日の渋滞 (県平均の22倍)	○
14	国道119号 (宇都宮市; 関堀町交差点付近)	休日の渋滞 (県平均の13倍)	○
15	国道119号 (宇都宮市; 下川俣交差点付近)	休日の渋滞 (県平均の13倍)	○
観光地の渋滞			
16	国道120号 (日光市; 日光市内、いろは坂ほか)	いろは坂通過に2時間 (平常時の6倍)	○
17	国道123号 (茂木町; 茂木付近)	イベント時には走行速度が5km/h以下に	○
18	主要地方道大田原高林線 (那須塩原市; 黒磯IC)	那須地域への観光アクセスが便利に	
19	主要地方道那須高原線 (那須町; 一軒茶屋交差点付近)	那須IC~湯本温泉に50分 (平常時の5倍)	○
災害時に寸断、狭い・カーブが多いなどで走りづらい			
20	国道121号 (日光市; 旧藤原町~旧栗山村)	道路防災危険箇所 7箇所	○
21	国道400号 (那須塩原市; 塩原温泉地区付近)	道路防災危険箇所 15箇所	○
とちぎの自然や文化遺産を遺す			
22	国道121号 (日光市(旧今市市); 例幣使街道ほか)	国の特別史跡、特別天然記念物に二重指定(全国唯一)	

※番号は優先順位を示すものではありません。

見える化とは、課題を「見える」ようにし、最適なやり方で重点的に解決すること。

道路見える化計画

課題が見える・やり方が変わる

「道路見える化計画」とは

- 道路の状況などを示すさまざまなデータから課題を「見える」ようにし、最適なやり方で重点的に解決していきます。
- 課題や解決策を県民のみなさまに「見える化」し、効率的な道路行政を進めてまいります。

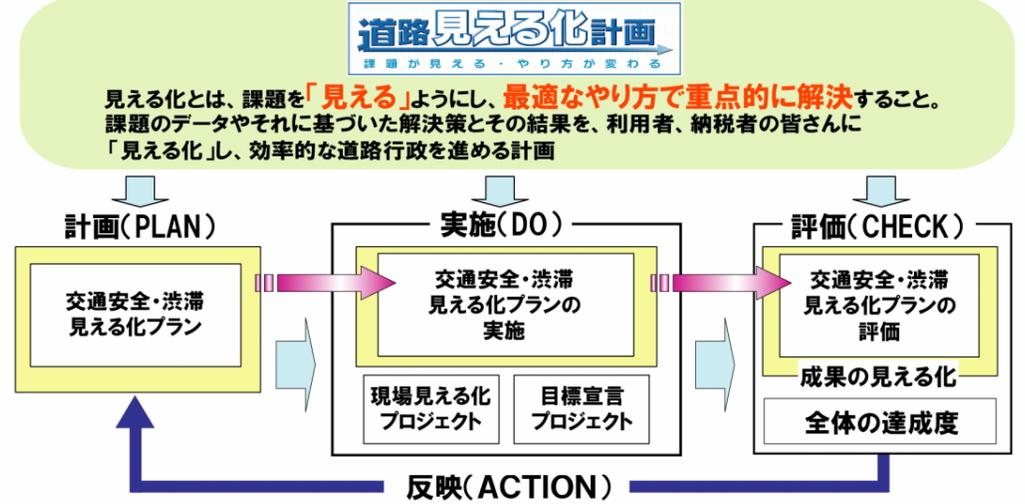
宣言1 道路の課題をデータできちんと把握します。

宣言2 解決を急ぐべきところから重点的に対策します。

宣言3 道路行政をもっと分かりやすく「見える化」します。

道路行政マネジメントの新たな取り組み

ムダな道路を整備しているという批判の中、納税者の理解を得ながら、真に必要な箇所を整備するため、優先順位の高い箇所を「見える」ようにする取り組み



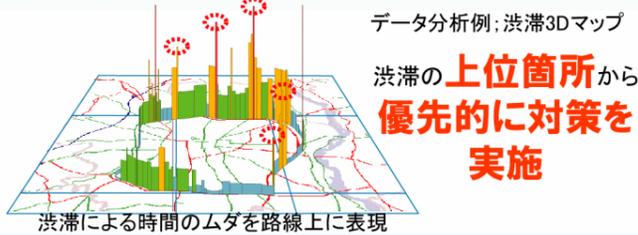
「道路見える化計画」のメニュー

分野ごとに個別プロジェクトを設置し取り組みを推進

安全性向上プロジェクト (安全見える化プラン)



移動性向上プロジェクト (渋滞見える化プラン)



現場見える化プロジェクト

工事の目的や整備効果などを明確に見える化

従来型 専門的な工事名を表現

見える化 工事内容や目的・効果が伝わる表現

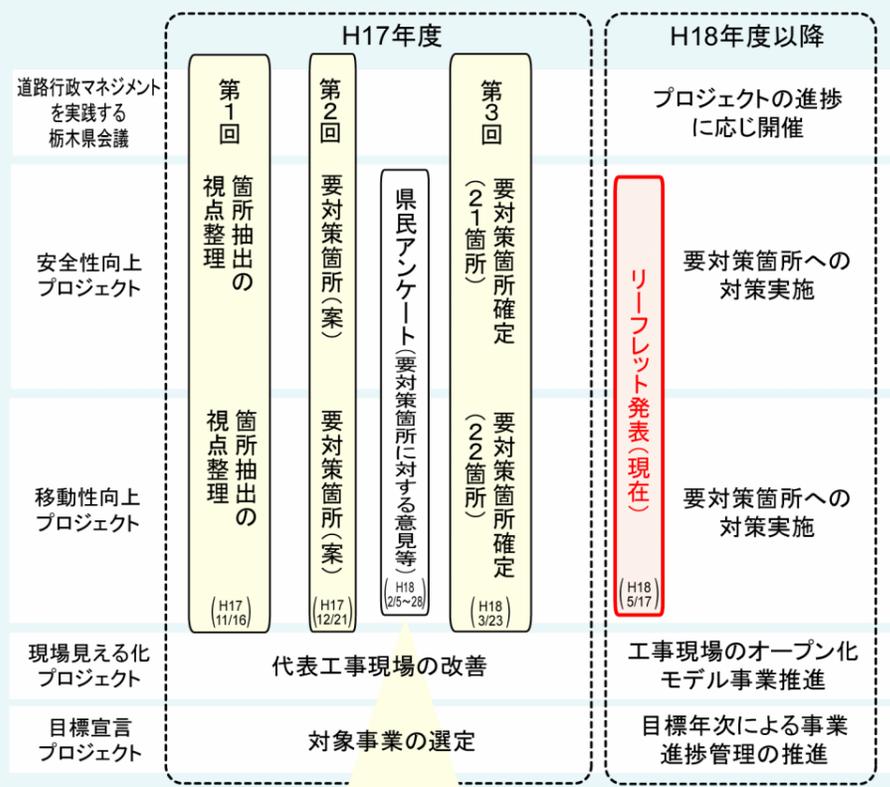
氏家矢板バイパス事業
渋滞を緩和するため4車線にする工事を行っています

目標宣言プロジェクト

事業の状況や完成目標などをオープンに



道路見える化計画の流れ



道路整備に対する栃木県民の声...

95%の方が「今後も道路整備が必要」と回答

～道路行政マネジメントを実践する栃木県会議 県民アンケートから～

